

核医学学術講演会開催報告
核医学技術研究班 松友紀和

開催日時：2024年9月28日(土) ハイブリット開催
開催場所：杏林大学(東京会場)，久留米大学病院(九州会場)

テーマ：ハイブリット型研修：ホフマンファントム作成完全マスター

プログラム

8:30 ~会場受付 & Webex オープン

9:00 ~開講式，オリエンテーション(各会場説明)

9:30 ~Web 講義『Hoffman 3D 脳ファントムの作成方法』

(以下，サテライト会場実習室にて対面開催)

10:15 ~休憩・実技実習会場への移動および準備

10:45 ~各支部会場でファントム作成実習

13:00 ~昼食

14:00 ~各支部会場にて作成の振り返りとまとめ

(以下，サテライト会場講義室にてオンライン開催)

14:40 ~『Hoffman 3D 脳ファントムの解析方法』

15:10 ~休憩

15:20 ~ディスカッション・質問コーナー

16:20 ~閉講式

参加者：20名(東京支部5名，九州支部15名)

核医学技術研究班では，核医学技術の向上を目的として「実践研修型の学術講演会」を開催しました。本講演会は，日本放射線技術学会核医学部会と九州支部の合同企画として実施し，座学と実技を組み合わせたハイブリット型の研修形式を採用しました。

近年，核医学分野では画像・数値解析の重要性がますます高まっており，これらを正確に評価するためには，ファントム作成技術の習得が不可欠となっています。本講演会では，ファントム作成の基本的な知識から実践的な技術習得までを目的とし，参加者が実際の業務に応用できるスキルを身につけることを目的としました。

講演会は三部構成で実施し，第一部では，Web 会議形式による座学を行い，大阪大学医学部附属病院の神谷貴史先生を講師に迎え，ファントムの基本構造や作成手順，正確な組み立て方法，注意点について詳しくご講演いただきました。第二部では，各会場に分かれて実技実習を行いました。チューターの指導のもと，参加者が実際にファントム

を作成し，実践的な技術を学ぶ機会を提供することができました。東京支部会場には5名が参加し，気泡除去やプレートを組み立てといった細かな技術を習得しました。参加者からは「事前に学んだことを実際に試すことで理解が深まった」「細かい作業のコツを知ることができた」との声があり，実技研修の有用性を改めて確認することができました。第三部では，島根大学医学部附属病院の矢田伸広先生より，Hoffman 3D 脳ファントムの解析方法について，実技に基づいた情報提供を行っていただきました。また，講演会の最後に実施したディスカッションでは，ファントム作成のコツや裏技などが議論され，より専門的な情報を共有する機会となりました。

本講演会は，参加者・チューター双方にとって貴重な学びの場となりました。特に，実技を通じて座学だけでは理解しにくいポイントを実践的に習得できたことが大きな成果といえます。一方で，参加者のスキルレベルに応じた指導方法の工夫や，事後のフォローアップを強化する必要があると考えています。今後は，研修前後の学習支援の充実や，継続的な学習の機会を提供することも検討していきたいと思います。核医学技術研究班では，今後も実践的な研修を企画し，核医学技術の発展に寄与していきたいと考えています。最後に，ご参加いただいた皆様，運営にご協力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。